

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

日本エフ・アール・ピー株式会社は、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、「誠実(Faith)」「責任(Responsibility)」「前進(Progress)」をモットーに最高の製品づくりを通じて、地域の安全・幸福な生活の創造に挑戦し続けます。
 なお、地域の安全と幸福な生活づくりの実現を目指すために
 ①災害に強いまちづくり。②環境に配慮した製品づくり。③社員の育成とスキルアップ。に取り組めます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・防水板の開発、製造 ・防災レジリエンス認証取得 ・農業・水産業への貢献	・減災防災関連商品販売累計実績7台 (2023年度)100台(2026年度)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・製造、加工過程での排水の適切な管理 ・3Rの取組、適切な産廃処理 ・森林の保全(組立可能なFRP構造物の導入) ・省電力高効率設備の導入	・CO ₂ 排出量削減3%(2023年度)目標 5%(2026年度) ・産廃物削減量3%(年間)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・社内の技術習得体制構築 ・定期健康診断、ストレスチェックの実施 ・テレワーク、フレックスタイムの導入 ・同一労働同一賃金 ・社員向け医療相談、弁護士相談窓口設置	・社員仕事満足度80%(2023年度)目標 90%(2026年) ・土木施工管理技術者資格取得者1名 (2023年度)10名(2026年度)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

お客さま、お取引先、地域との連携を一層強化し、環境に配慮した製品づくりを通じて地域の防災・減災に資する事業活動を行います。
 また、社員の教育や心身の健康にも配慮し、社員の満足度向上に向けて取り組めます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・防水板の開発、製造 ・防災レジリエンス認証取得 ・農業・水産業への貢献	・減災防災関連商品販売累計実績500台 (2024年度)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・業界全体に見る減災防災製品の落ち込みのあおりを受け、累計実績が当初の計画より落ち込んでしまった。	減災防災関連商品販売累計(3年間約40台)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・製造、加工過程での排水の適切な管理 ・3Rの取組、適切な産廃処理 ・森林の保全(組立可能なFRP構造物の導入) ・省電力高効率設備の導入	・CO ₂ 排出量削減3% (2024年度) ・産廃物削減量3%(年間)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2021年時の生産より2023年度はこれまで廃棄していた物を再利用、必要な分だけ購入、ゴミを正しく分別しリサイクル出来るよう分ける。2021年57.42tの廃棄物を2023年度44.19tへ減らすことができ、目標を達成した。	生産量にもよるが、2021年に比べ2024年の産廃排出量は77%程度に抑えられている。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・社内の技術習得体制構築 ・定期健康診断、ストレスチェックの実施 ・テレワーク、フレックスタイムの導入 ・同一労働同一賃金 ・社員向け医療相談、弁護士相談窓口設置	・社員仕事満足度80% (2024年度) ・土木施工管理技術者資格取得者10名 (2024年度)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	土木施工管理技術者を必要とする主力製品の低下で重要性が減った。ただ、人員の増員により生産するうえで必要な資格に特化した。社員仕事満足度の数値化は行っていないが、Web面談(会議)やテレワークの導入で顧客や従業員の満足度は上がっていると考えます。	・社員仕事満足度の数値化は未実施 ・土木施工管理技術者受講者1名、危険物免状、技能講習、技能教育受講者多数 ・テレワークの導入・Web面談(会議)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
 ・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
 ・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。